

マリナーライフ

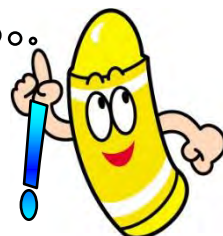
[Vol. 262]

【令和5年度「ふるさとの自然」作品コンクール】

応募総数886点

正確なデッサンと繊細な色使い！

海辺の生き物絵画 入賞者決定！

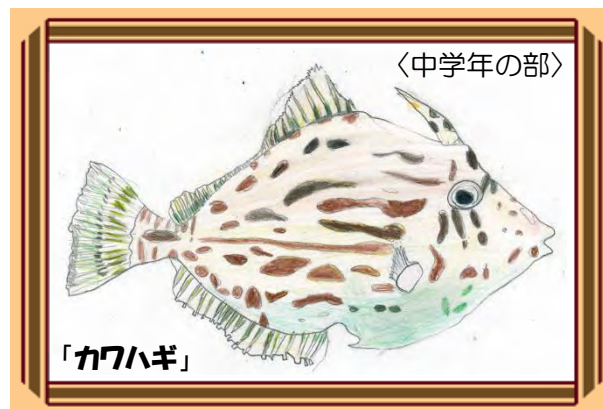
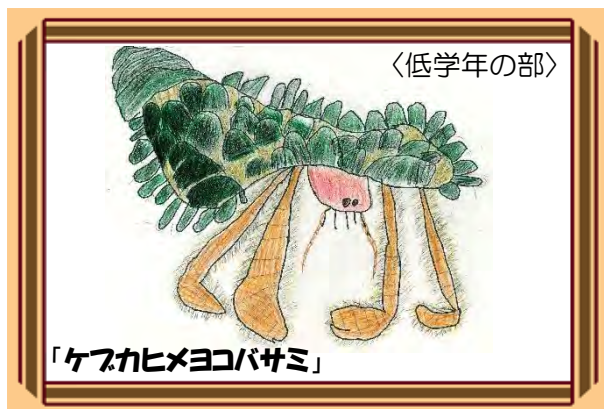


江田島市周辺にすむ海辺の生き物の絵画を募集した、「ふるさとの自然」作品コンクール。今年度は、886点の応募がありました。本当にありがとうございました。審査は、小学校低・中・高学年、中学校の4部門に分けて行い、多くの優れた作品の中から入賞作品80点（優秀20点、入選60点）を選定し、表彰させていただくことになりました（審査結果は各学校に通知）。どの部門も年齢に応じた力作ばかりで、題材をしっかりと観察して細部まで描きこんだ正確なデッサンと繊細な色使い。今にも動き出しそうな迫力満点な作品ばかりでした。入賞作品は、今後、各種イベント会場やさとうみ科学館内での展示を行い、多くの方々に見ていただく予定です。

現在、入賞作品を掲載したカレンダーを製作中です（3月中旬には完成予定）。各小中学校や市内公共施設などに配布して掲示してもらう予定です。楽しみにしていてください。



★優秀作品の一例★



人工知能（AI）を用いた最新技術を使って ハクセンシオマネキの“生命のリズム”を体感！

1月23日（火）、さとうみ科学館を会場に、生き物の行動を人工知能（AI）で解析し、「生命のリズム」を体感しながら学ぶことができる展示とワークショップが行われました。これは、イノベーション創出や社会課題に立ち向かう人を支援する広島県の事業「RING HIROSHIMA」の一環で行われたもので、今年度の採択プログラムの1つ『生物の身体性をAI技術を用いてビジュアライズさせた新たな体感型展示』の実証実験です。実施メンバーは、企画立案者であるクリエイター集団の「pbp（phenomenabox project）」、協力パートナーである関西大学システム理工学部の田實佳郎教授と大学生のみなさん、そして、さとうみ科学館。「ハクセンシオマネキ」の求愛行動を“AI”で解析して、得られたデータを映像と音楽が連動したグラフィック映像にすることで、センサーを身体に取り付けてシオマネキの真似をするとグラフィックが動くという「体感型の展示」です。

今回の実証実験に協力してくれたのは、大古小学校3年生、大柿中学校科学部、大柿高等学校科学部のみなさんと先生方。

午前中は、小学生を対象にワークショップを行いました。カニのハサミ脚を段ボールで作成し、センサーを取り付けてハサミを振ると、その動きに連動して映像と音が反応します。AIで解析したハクセンシオマネキたちの求愛ダンスの行動データ（映像と音色）と、小学生たちの動きが連動し、まさに「生命のリズム」を体感する展示を楽しむことができました。

午後からは、中高生を対象に、関西大学の田實先生による動画解析の方法と人工知能（AI）についての説明や、映像クリエイター笠原さんによるデータビジュアライゼーションなどのしくみについて解説をしていただきました。また、今回の展示についてだけでなく、クリエイター集団pbpのみなさんの日ごろの取組（仕事）の話もしていただき、キャリア教育を兼ねた体験会となりました。

今回、データサイエンスとグラフィックのコラボによって、「生命のリズム」、つまり、目に見えない「生命」を「目に見える化」していただいたのではないかと思います。「目に見えないもの」を実体があるものとして捉える・感じることは難しく、それをさらに表現することはもっと難しいことだと思います。「生命のリズム」を展示という形で表現していただいたことで、「生命」を捉える・感じる事ができたことも私たちも多かったのではないかと思います。リアルとバーチャル、うまく組み合わせることで、今後も、より深い学びにつながる場や機会を提供していけたらと感じました。



大学生といっしょにセンサーを取り付け中



ハサミを振って体験中



真剣に解説を聞く中高生



←大古小学校3年生と

↑中学生・高校生と

※今回、実証実験を行っていただいた「pbp」、関西大学の田實先生と学生のみなさん、県・市の関係者、参加協力してくれた小・中・高校生と先生方に、この場を借りてお礼申し上げます。ありがとうございました。

◆ 第190回自然観察会(特別研修会)のお知らせ ◆



大学を体験しよう！今年は「竹原ステーション(水産実験所)」で開催！ 「研究の世界をのぞいてみよう！」

毎年、広島大学の先生方に協力していただきながら開催している特別研修会。今回は、「広島大学瀬戸内 CN 国際共同研究センター」(竹原ステーション)の大塚 攻 教授の協力のもと、施設見学、研究のお話、実習など、直接体験させていただきながら、大学で行われている「研究の世界」をのぞかせていただきます！今回は水産実験所ということで、沖合まで調査船で出かけ、プランクトン採集や環境観測、顕微鏡観察などを行う予定です(内容については現在調整中です)。

「大学」ってどんなところだろう？自然科学に興味のある方はふるってご参加ください。

竹原ステーション



実習の様子

「里海の持続的利用およびレジリエンスを学ぶ教育拠点」として、豊かで健全な里海づくりを目指す海域フィールド教育・研究および地域貢献を担う水産実験施設です。最近では、動物プランクトン、寄生生物、カブトガニ、海藻類、藻場、稚仔魚の生物多様性、生態の分野で顕著な研究業績があります。

【沿革】1949年、福山市箕島に広島大学水産学部水産実習施設としてスタート。その後、名称・場所を変えながら、1991年に現在の竹原市に総合移転。2003年、「生物圏科学研究科附属瀬戸内圏フィールド科学教育研究センター」に改組され、「竹原ステーション(水産実験所)」と改称。2012年より文部科学省「教育関係共同利用拠点」に認定され、現在は瀬戸内 CN 国際共同研究センター・ブルーイノベーション部門(水産実験所)として、全国の水産生物学の教育発展および地域啓発活動に尽力している。



小型調査船「からぬす丸」

<今回のテーマ>

「研究の世界をのぞいてみよう！」

日時：令和6年3月30日(土)
9:00 ~ 18:00

場所：広島大学 瀬戸内 CN 国際共同研究センター
(竹原ステーション：水産実験所)
〒725-0024 竹原市港町5-8-1

集合：さとうみ科学館 8:45 集合
(バスでさとうみ科学館⇄センター間を送迎します)

定員：小学生以上(先着20名程度)保護者含む
※ただし、申込多数の場合は小中高校生を優先

持ち物：○昼食は各自で持参(実験所内で食事をします)
○長袖の上着(船に乗るので寒くないように)

申込：3月15日(金) 16:00までに
事務局までお申し込みください。

当日の日程(予定)

9:00	さとうみ科学館 集合・出発	
11:00	竹原ステーション 着	
11:00	●大学の先生によるお話●	
12:00	「どんな研究をしているの? (仮)」	
12:00	昼食	
12:30	休憩	
12:30	第1グループ	第2グループ
13:15	①調査船に乗船 (採集など)	②施設見学
	②施設見学	①調査船に乗船 (採集など)
14:00	●実験室で実習●	
14:00	大学生と一しょに採集したプランクトンやチリモンなどを観察します。	
16:00	竹原ステーション 発	
18:00	さとうみ科学館 着 解散	

(交通事情により、日程は多少変更になる場合があります)

◆ イベント情報 ◆

第3回 古鷹ふれあい祭り

「ものづくりコーナー」 出展

3月10日(日)に開催される「第3回 古鷹ふれあい祭り」の特設コーナーとして、さとうみ科学館の出前展示を行います。「科学おもちゃのものづくり」コーナーと、令和5年度「ふるさとの自然」作品コンクールで入賞した作品を「絵はがき」サイズに印刷した「海辺の生き物イラスト展示」コーナーを予定しています。ぜひお越しください!!

「カライドサイクル」
(さとうみバージョン)



くるくるまわすとデザインが変わる「立体万華鏡」だよ!

日 時：令和6年3月10日(日)
9:30~14:30
開催場所：江田島市民センター別館
1階 娯楽室

※ 定員は特にありませんが、
材料が無くなり次第、終了とします。

潮見表 3月の観測に適した日時 (干潮時刻と潮位)

3月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15
曜日	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金
時分	6:40	7:13	7:54	8:58	11:34	13:20	1:01	2:03	2:52	3:35	4:15	4:54	5:31	6:08	6:45
cm	82	112	144	175	186	161	60	26	-4	-21	-24	-11	16	52	93
時分	18:57	19:30	20:13	21:23	23:22		14:08	14:47	15:25	16:01	16:38	17:14	17:50	18:26	19:02
cm	50	59	73	87	86		130	97	67	40	18	5	1	9	27

3月	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31
曜日	土	日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土	日
時分	7:24	8:13	10:45	13:04	0:25	1:30	2:16	2:51	3:22	3:51	4:19	4:47	5:16	5:46	6:18	6:54
cm	135	173	195	175	101	82	63	48	38	35	39	47	61	79	102	128
時分	19:42	20:35	22:30		13:50	14:21	14:49	15:15	15:41	16:06	16:32	16:59	17:27	17:55	18:25	18:59
cm	53	84	106		147	121	99	80	63	49	37	29	25	27	35	49

cmの数字が小さいほど、よく潮が引きます。

令和6年 潮汐表(海上保安庁)から

潮位30cm未満(網掛けにしている日)が調査に適しています。

事務局だより

●「早朝観察会」・・・2月11日(日)、第189回自然観察会「早朝観察会」を実施しました。なんといっても“干潮位-40cm”という今年最低潮位。場所はいつもの釣附海岸でしたが、通常の大潮でもなかなか歩けない潮下帯を歩けたので、我々職員も久々に“探す楽しみ”を満喫しました。当日は広島ホームテレビの取材もあり、14日(水)、夕方の番組「ピタニュー」で、その時の様子が放送されました。見逃された方は、広島ホームテレビHPの「地球派宣言」のコーナーで、記事・動画を確認できますよ。



●休日開館日(3月)のお知らせ・・・3月の休日開館日は、9日(土)・23日(土)、9:30-17:00(入館は16:30まで)です。詳しくは事務局までお問い合わせください。

江田島市教育委員会 教育部 大柿自然環境体験学習交流館

さとうみ科学館
Satoumi Science Museum (SSM)

〒737-2214
広島県江田島市大柿町深江1073番地1
TEL:(0823)57-2613
FAX:(0823)40-3100
メール:satoumimail@yahoo.co.jp
HP:『さとうみ科学館』で検索

◆事務局スタッフ◆

館長：西原 直久
主任：平山 良太
運営指導員：大下 敏幸
運営指導員：花崎 直子
支援員：木村 さつき
里海ナビゲーター：守本 怜矢



(友の会会員シニア 175名 ジュニア 133名)

◆あとがき◆只今、イラストコンクール参加賞の絵はがきを制作中!今回は886作品、一人一人絵はがきにしています。数多くてたいへんな作業ですが、どれも素敵な作品ばかりで楽しい作業でもあります。カレンダーの仕上がりも今から楽しみです。(花崎)